

サービスマーケティングを振り返って

社会福祉学部保健福祉学科 2年 北原 祥子

活動先：NPO 法人 共育ネットはんだ

クラス：野尻 紀恵 先生

1. サービスラーニングを通しての自分の成長と気づき

私は、この6日間のサービスマーケティングの活動をNPO法人共育ネットはんだで行った。共育ネットはんだでは、子供たちを共に育み、子供たちと共に育ち合うことを活動理念としている。そして、出会いと体験を基本に子供達の自立(自律)に向け寄り添うことを目的としている。6日間の活動で自分の成長と気づきは2つある。

まず、はじめに私はサービスマーケティングを行うまでNPO法人がどのようなものか知ることが出来ていなかった。しかし、サービスマーケティングを行うために学習したことから、NPO法人は地域に密着し、根付いていることがわかった。共育ネットはんだは半田市に住む人々から必要とされ、地域に根付いているということがわかった。共育ネットはんだが行っている活動に対して、地域の方が理念や活動目的の理解に賛同してくれている。特に共育ネットはんだの活動に参加している子供の保護者の方から多くの理解を得ており、必要とされている。障がいのある子供が将来就労出来るように考えた活動や、保護者同士の交流の場でもある。さらに、学校や家庭で出来ない活動ができるため、地域住民からの需要はとても大きい。このようなことから、NPO法人は地域に根付き必要とされていることに気付いた。たくさんの方から必要とされているということは思ったよりも身近な存在であるということに気付くことが出来た。

2つ目に、私たちは活動中に共育ネットはんだの理事長である水野尚美さんから「もっと自分を出してほしい」と言われた。私たちは活動当初自分を出すことが出来ずに、笑顔がないまま活動に参加していた。自分の出し方がわからず、活動メンバーとたくさん悩んだ。水野さんがおっしゃってくれた言葉を聞いてから、どのように自分を出していけばよいか考えた。自分なりに考え心がけたのは、わからないことはスタッフの方に聞き自分から積極的になって活動するということだ。このことを意識し始めてから活動中の子供に対しての接し方が変わり、笑顔で自分からたくさん話しかけられるようになった。そして、子供との距離も縮まることができ、信頼を得ることが出来たような気がする。水野さんにも最終活動日の反省ではじめと変わった、表情が違うとおっしゃっていただくことが出来た。6日間という短い間の活動の中で、活動を重ねていくうちに自分らしさを少しずつではあるが出すことができるようになった。私自身、初回の活動と最終日の活動とでは学んだものは違うような気がする。この活動を通して、水野さんからおっしゃっていただいた言葉がとても心に残り、自分を出すということ、積極的になるということの大切さを学んだ。このように考えるようになってから、様々な場面で積極的になろうと思うことができ、自分の成長に繋げることが出来た。

2. 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

今回活動した共育ネットはんだは、出会いと体験を基本に子供達の自立(自律)に向け

寄り添うことを目的としている。このような活動は先ほども書いたが、やはり地域の方の協力または理解が必要となってくる。共育ネットはんだはこの理解を得て活動を行っている。例えば、活動場所は半田市内の小学校や公共の施設を借りて活動しているが、これは活動に対しての理解がなければ出来ないことではないだろうか。地域に根付いている NPO 法人であるため、地域を巻き込んだ活動が出来ている。そして、住民活動が活発である半田市だからこそできることである。たくさんの方から認められていることから社会の関わりがあることがわかった。

さらに、共育ネットはんだの活動で、「びりい部」というものがある。このびりい部は子供の自立支援に向け活動しており、最終的に自立し「働ける大人」を目指すための活動を行っている。このような活動のなかで障がいのある子供たちが得意なことを見つけていき、将来の就労に繋がる可能性を見出していつている。私は、この活動に参加したときに子供たちのなんでも頑張る姿、一人ひとりに得意なものがあるということに感動した。それは素晴らしいものであり、将来の就労に繋がっていくものと感じた。活動を行っている子供たちはきちんと挨拶ができ、片付けもきちんとやるし、何より集中力がある。とても大切な礼儀作法も身につけており、共育ネットはんだでの活動の成果や、活動のなかで覚えたことを各家庭にもって帰り、復習としてやってみたりしている様子もあるようだ。

私は、このような活動を共育ネットはんだが行っているということは知らなかったし、子供たちが将来就労できるようにと働きかけた視点での活動があるなんて考えたこともなかった。この活動は必要なものであり、子供たちにも保護者にもプラスになるものだと思う。子供たちにとって社会活動、社会経験はとても大切だし、成長に繋がる。このように、子供が将来働けるように得意を見つけ、社会に出ていけるようにする活動は社会的な活動として大きな役割があると感じた。